

# 平成22年度 自己評価の結果について

(様式 4)

学校法人旭川カトリック学園 旭川聖母幼稚園

## 1. 本園の教育目標

キリスト教の精神と理念に基づいて、他者に対する思いやりと自己犠牲の精神を育む。幼児の主体的な活動としての遊びを十分に確保し、遊びを通して周りの世界に興味をもち、探索し、思考する過程を大切にしたい教育を目指している。また、幼児期にふさわしい生活が展開されるように、園児と教師の間の信頼関係に支えられた生活、興味や関心に基づいた直接的な体験が得られる生活、友達と十分にかかわって展開する生活がなされるように配慮した幼児教育「お祈り」「親切」「がまん」を目指している。

## 2. 本年度、重点的に取り組む目標・計画

幼稚園教育要領が改訂されたことを踏まえて、幼稚園の教育課程の内容を確認し、教職員の共通理解を図り、教育の質を高める。又幼児指導要録の研修、自己点検・評価を通じて保護者のニーズを確認することで、本園としての中・長期のビジョンを明確化し、当地域において本園が今後担う役割について検討する。

## 3. 評価項目の達成及び取組み状況

評価項目・目標	取組み状況
1 保育の計画性 保育内容及び指導の在り方等を精査し、指導計画を策定し、教育内容の充実を図る。	発達年齢にあった活動を展開していけるような場や空間の構成に勤めているが、幼稚園教育要領を学び、毎月のカリキュラム、宗教カリキュラムと照らし合わせ、計画の加筆、修正の部分に力不足を感じている。
2 保育の在り方、幼児への対応 安全管理の徹底、幼児理解の向上、子育て支援その他の充実を図る。	自由遊び時間の園児の関わりを大切に考えている。園児の話を良く聞き、その子の思いを受け止めたり、園児同士の関わりを捉え、そこでの育ちを理解し保育に生かすよう努力している。
3 保育者としての資質 保育専門家としての能力、姿勢、責任等資質向上を図る。	園児の成長を自分の喜びと感じ、保育者としての姿勢、義務について日々怠りなく努力している。教職員全員で一つのチームであることを自覚している。
4 保護者への対応及び家庭との連携 園児に関わる情報の発信と受信、保護者のニーズの把握につとめ、要望や苦情に適切な対応を図る。	相談は良く聞き、相手の立場に立った発言を心がけている。又、電話は相手が見えにくいために誤解が生じやすいことを心に留め、簡潔に要点をまとめ、わかりやすく誠意を込めて話すことを心がけている。しかし、保護者に園児の様子を伝える時間が不足がちに感じ、思案している。
5 地域社会との連携 地域の自然や社会との関わり及び小学校と連携を図り、地域開放の努力をする。	小学校からの招きには積極的に参加しているが、地域の人々と親しく挨拶をかわしたり、近所の自然や交通機関を保育に生かす活動がない。

<p>6 研修と研究</p> <p>研修・研究を積極的に行い、専門性を高める努力をする。</p>	<p>自分の保育の在り方や、悩みについて、一人で抱え込まず、他の保育者や主任、園長に相談をしている。又月に1回程度、園長の指導のもとで宗教研修を行い、縦割り保育の長所を学び、保育に生かす研修・研究を行っている。</p>
<p>7 情報公開</p> <p>保育の現状等や自己点検・評価の結果等を個人情報保護に留意しつつ、積極的に園便り等で情報公開する努力をする。</p>	<p>クラスだより・クラスだよりの発行。ホームページの公開を行っている。</p>

#### 4. 学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

<p>1 保育の計画性</p> <p>教育理念、保育内容及び指導の計画性、その他</p>	<p>A—47 B—18 C—4 D—1</p> <p>お祈り・親切・がまんの理念は大変良い。挨拶などの基本生活、遊び中心の教育方針に問題なし。異年齢での共同作業、縦割り保育、縄跳び、鉄棒などの新たな試みがよかった。又従来通りの遠足、散歩が良い。反面、縦割り保育の短所、長所を教えて欲しい。縦割り保育の期間が長いと感じた、小学生への準備、勉強の取り組みをして欲しい。学年ごとに目標を決めて（跳び箱、鉄棒、読み書き等）取り入れて欲しい。</p>
<p>2 保育の在り方及び対応</p> <p>幼児理解、保育姿勢、連携、子育て支援その他</p>	<p>A—51 B—18 C—0 D—1</p> <p>子ども一人ひとりに対応し、保護者の不安によく対応している。預かり保育の充実、実費等の値下げが実現した。職員に好感を持てる。手紙や電話が嬉しい。家庭へのアドバイスが具体的で良い。保育園とちがい雰囲気が良い。反面、帰りの外遊びが減っている。保育に余裕が見られず不安。縦割り保育は年長が目立つ、年少教育にもっと力を入れてほしい。自由遊びの時間は、砂遊びなど限られた空間での決まりきった遊びだけでなく、表現豊かな遊びを先生に指導して欲しい。バス待ちの様子を知りたい。</p>
<p>3 保育者としての資質</p> <p>専門家としての能力・姿勢・責任等</p>	<p>A—47 B—19 C—2 D—0</p> <p>若い先生が多く一生懸命。良い先生。子どもが「預かりにして」と喜んでいる。前向きの先生がいて安心。子どもときちんと向き合っている。情熱がある。的確な指導。子どもが喜んで登園するのは先生のおかげ。園の掲示物がきれいに貼ってある。物を大事にしている。やさしい。反面、一部の先生が先生らしくない言葉で子どもをしかっていた。教育者らしくして欲しい。子どもへの注意の仕方に配慮のない先生がいる。</p>

<p><b>4 保護者への対応</b> 情報の発信と受信、苦情や要望への対応、マナー、心構え等</p>	<p>A—38    B—24    C—7    D—1</p> <p>保護者の話を良く聞く。よく話してくれる。素早い対応。気配り、目配りをして報告してくれる。こまめな便りで良い。対応は的確。職員に感謝。子供同士のトラブルを細かく知らせてくれる。職員の笑顔が良い。入園当初の様子を教えてもらえ安心だ。反面、手紙がわかりにくい。入園の頃の様子をもっと知らせて欲しい。保護者の要望相談に対し違う答えが返ってくる。事故やインフルエンザの対応を教えて欲しい。トラブル、怪我、流行している病気、高熱でどれだけの子どもが休んでいるか知らせて欲しい。子どもの様子が分からない。芋掘り遠足のバスの件を詳しく知りたかった。意見ポストを設置してはどうか。</p>
<p><b>5 地域社会への連携</b> 地域の自然・社会、小学校との連携等</p>	<p>A—42    B—23    C—2    D—0</p> <p>色々行事があって楽しい。園庭、駐車場に鉢植えの花があればいい。公園や散歩にもっと行ってほしい。地域の方とバザーで交流できる。園外保育、遠足、運動会を小学校で行う、3園交流が良い。季節を感じる遠足が良い。バザーやなかよし子ども会がよい、満足している。地域の自然や施設に訪問してはどうか。山へ行き虫、鳥、花などの自然に触れる機会を。小学生との交流がない、一緒に遊ばせて欲しい。</p>
<p><b>6 情報公開</b> 教育活動の情報・クラス・園便り、自己評価結果の公表等</p>	<p>A—43    B—20    C—6    D—0</p> <p>園だより・クラスだよりを楽しみにしている。毎日それぞれの保護者に話してくれている。園での様子が分かり充実している。どの手紙も理解しやすい。毎日の活動内容を知りたい。お別れする子の知らせを早く欲しい。個人の様子を手紙で知らせて欲しい。参観日以外で様子をのぞけるチャンスが欲しい。クラスの様子を週一回の手紙で欲しい。クラス便りはもう少し具体的に様子を書いて欲しい。品物を回収する手紙と行事の手紙はもう少し早めに欲しい。普段と違う活動をする時は前もって知らせて欲しい。小学校には保健便りがあり、どんな病気が流行しているか分かるが、幼稚園は聞かないと教えてくれない。給食メニューは写真で公開して欲しい。</p>

## 5. 今後取り組むべき課題

課 題	具体的な取り組み方法
安全管理	不審者情報が北私幼旭川支部や警察から提供されるよう、組織化されたが、その情報が広範囲すぎ、情報が十分ではない。本園独自で施設面での対応と、教員の意識づけ、並びに危機管理マニュアルの作成を行いたい。

<b>特別支援教育</b>	幼児に対応した個別の指導計画の作成を検討するとともに、医療・福祉の関係機関との連携をどのようにするかを検討したい。更に、当該児が進学する小学校との連携を密接にしていきたい。
<b>園に対する保護者の満足度の把握</b>	本学園の建学の精神に則った、独自性に充分配慮しつつ、子育て中の保護者が期待する幼稚園像を把握し、現代社会において求められるカトリック幼稚園の姿を確認することで、本園のビジョンを策定する基礎としたい。

## 6. 学校関係者の評価

手紙から神さまの恵みを知った。保育室に扇風機を。小学校のプールは借りられないか。遊ぶ時はおもいっきり、活動する時は行儀よくと、子どもが成長し、入園させてよかったと思う。園の雰囲気が良い、和やかできちんとした印象である。聖母幼稚園独自の保育の取り組みがあっても良い。園バスが3便だと冬は4時過ぎ、外は暗くなってしまうのでもう少し検討して欲しい。通園バスは小学生より遅く帰宅する、もっと早くならないか。バスにシートベルトがない。素晴らしい幼稚園。制服は行事のみに限定し着用してはどうか、しかし、毎日着て行くことでボタンが上手になった。制服の衣替えの期間を検討してはどうか。1階のトイレの石鹸が全部切れていたことがあった。ボランティアが幼稚園に入ってはどうか。先生の笑顔が良く園が明るく元気に感じる。先生に気さくに話ができる。運動会の片付けなど、先生の一生懸命な姿勢に感動した。保護者の私語が多すぎる、他の幼稚園から転勤してきたが母親はきちんと話しを聞く姿勢だった。小さい子を連れてくる方は子どもを預けるか、他の人の迷惑にならないよう騒いだ時は廊下へ出てはどうか。遠足の服装、持ち物は統一して欲しい。先生の頑張りに頭がさがる。モンテッソーリをもう少し取り入れて欲しい。いままで通りで満足。バザーの縮小を希望。幼稚園から小学校への祝電がなかった。

## 7. 財務状況

大手監査法人である太陽ASG有限責任監査法人(東京)の監査を受け、適正に運営されていると認められている。また、法人本部の財務状況報告により法人内各幼稚園及び学園全体の財務状況は職員の間で周知されており、共通理解に立って効率的な運営に努めている。

### ☆ 振り返りとまとめ

小学校関連への回答: 幼稚園・保育所等と小学校の連携の大切さは小学校側も充分理解しているが、小学校はカリキュラムに沿った授業があり、プールの貸出しは長期休業期間なら許可できるとの返答があった。卒園児が1年生に入学した学校への入学式・入園式・運動会・バザー・聖劇・卒園礼拝式などの行事のご案内、祝辞を毎年郵送している。  
通園バスのシートベルト: 警察に相談したところ、そのままの送迎に問題はない。

今年も、たくさんの保護者の方から評価を頂きました事に感謝申し上げます。その関係者評価票から保護者の不安や疑問、苦情を受け止め、今後の保育の充実の為に一層努力してまいります。又、保護者からの励ましの言葉も頂き、職員一同、キリスト教の精神と理念に基づいた教育に携わっていける喜びを感じています。ご協力ありがとうございました。